太西星星がたくさん輝いた合唱コンクールでした







今日は学年別合唱コンクールでした。先日のリハーサルでもお知らせしましたが、感染症対策の ため、1学年ごとの実施となりました。各学年の課題曲は、次のとおりです。

- 1 年生 『カリブ夢の旅』
- **[Let's search for tomorrow.]** 2 年生
- 『時の旅人』 3 年生

例年よりも練習時間が大幅に少ないため、各学年とも、学年に応じた歌いやすい選曲となりまし た。また、学年統一で同じ曲を合唱します。

いろいろと制約が多い中、子ども達は、今日のステージでベストを尽くしてくれました。特に、 先日のリハーサル終了後、危機感を感じたクラスもあり、指揮者やパートリーダーがクラスを奮起 させていました。一生懸命に声掛けをして合唱を盛り上げるリーダーの姿はとても素晴らしかった です。クラス皆で、1つのことに取り組むことは大変意義のあることです。合唱コンクールをとお してまた1つ、クラスがまとまり、子ども達に成長が感じられました。

各学年の様子を簡単にお知らせします。

- 1年生・・・1年生らしい元気な歌声でした。ラストでテンポが変わる難しい曲ですが、どのクラス も上手に歌っていました。歌を聴いていると、歌詞に出てくるキャプテン・キッドを連想させて くれる楽しい歌声でした。
- 2年生・・・2年生は、全クラスが昼休みに合唱練習をしていました。担任の先生もそれぞれの個性 を発揮し、合唱指導に励んでいました。先生を含めてクラスが1つになりまとまるという、とて も良い光景でした。この時の一体感や、周りを思いやる気持ち、協力し励まし合う姿など、中学 生としての理想の姿を見ることができました。そのため、ステージでの合唱も練習の成果が十分 に発揮され、聴きごたえのある歌声でした。どのクラスも成長を感じました。これだけのことが できる2年生ですので、これから西中の中心学年となって、西中をさらに元気で活発な学校にし てくれると確信しました。
- 3年生・・・2年生が急成長を見せた後の3年生の合唱でしたので、内心「3年生大丈夫かな?2年 生より上手な合唱を披露してくれるかな?」と心配していました。しかし、3年生の歌声を聴い てその心配は、3年生に対して大変失礼なことであることに気づかされました。

3年生の歌声は、1、2年生とは比べ物にならないくらいレベルの高いものでした。ソプラノ、 アルト、テノールそれぞれのパートが、目指す音を綺麗に表現していました。声量もしっかりと していました。そのため、ハーモニーも素晴らしく、いつまでも聴いていたくなる歌声でした。 歌の後の余韻がまた気持ちの良いものでした。素晴らしい歌を聴いた後でないと、この余韻は感 じることができません。1クラス終わるたびに心地良い余韻を楽しませてもらいました。

そのため、3年生の歌を全クラス聴き終わって、困ったことが2つ起きました。

1つは、**ずっとこのままここで歌を聴いていたい!**という気持ちになったことです。歌を聴いた後、 心がポカポカして大変、気持ちが良くなりました。このひとときが終わらず、ずっと続いてほし いと思いました。同じ曲を何度も聴いているはずですが、全く飽きが来ません。各クラスの個性 溢れる表現力が、聴く側を楽しませてくれました。そして、まだまだ歌を聴きたくなる心境にさ せてくれました。3年生の歌声は、どのクラスもそれほど魅力的でした。

もう1つは、**審査が混乱する!**と感じたことです。どのクラスもレベルが高く、聴いている分には良いのですが、審査するには困ったものでした。甲乙つけがたく、順位がつけられません。実際、審査はかなり割れました。それだけどのクラスも素晴らしい合唱でした。やはり3年生の力は違うと痛感しました。

昨年は実施することができなかった合唱コンクールですが、「できる範囲での実施」を目指し、 実際に開催することができて良かったと思います。子ども達の努力や成長する姿から、感動をも らえた1日でした。コロナ禍に負けない子ども達のパワーを感じました。

今後のますますの活躍が期待されます。



1年生は新鮮な歌声でした



2年生はクラスの団結力を感じました



3年生の歌声は別格でした。聴いていて大変、気持ち良くなりました